

公民館前の左側、1986(昭和61)年に建立された石碑があります。



石碑には、金田地区の歴史がつづられています。文言を読みながら金田の過去を紹介します。

健民の碑

金田の歴史は 古来金目川 鈴川との洪水の営々たる村民の闘いであった
この厳しい生活史の中で培われてきた村民の共存 協働意識と進取の気性は 近代に入って耕地
の改良事業となり 戦後は農村の旧弊改善さらには健康で明るい村民づくりの社会体育となって進
展し 新生活モデル村 社会体育優良村として数々の賞に輝いた
昭和三十年十一月一日第十回国民体育大会のみぎり 天皇皇后両陛下の行幸啓の栄に浴し村民
こぞってお迎え申し上げたのがこの公民館の地である
まなびやにはげみし頃を思ひ出でて
なつかしく見るおいし師の君
この皇后陛下の御歌は お出迎えの中に当地寺田縄出身である学習院時代の恩師戸倉ヤマ(旧姓
吉川)さんの姿を見いだされお詠みになったものである
金田公民館の竣工に当たり ここに地区民の業績を讃え この施設が幾久しく地域社会発展の礎と
ならんことを祈念し建立する
昭和六十一年四月一日 平塚市長 石川 京一 撰文 小島 英耀 謹書

『金田の歴史は 古来金目川 鈴川との洪水の営々たる村民の闘い』

● ご存じのように、金目川は、金田地区の水田耕作の用水として活用されてきました。稲を实らせ、豊作をもたらした農業用水は、鈴川へと流入（排水）されています。

金目川は近世期にわたり十年に一度の割合で氾濫し、洪水を繰り返して地域住民に多大な被害をもたらしてきました。近代になっても洪水は繰り返されました。

現在、鈴川の左、右両岸には、地番が行き交っている地域があります。蛇行していた鈴川の洪水を防止するため、直線的に改修され、今のような状態になりました。

金目川、鈴川の両河川は、地域に富をもたらすとともに、洪水との闘いをも結果しました。

『耕地の改良事業となり 戦後は農村の旧弊改善さらには健康で明るい村民づくりの社会体育となつて進展し 新生活モデル村 社会体育優良村として数々の賞に輝いた』

『第十回国民体育大会のみぎり 天皇皇后両陛下の行幸啓の栄に浴し』

● 耕地の改良は、耕地整理や暗渠排水を意味します。金田地区の『耕地整理は早く、明治38年（1905）に第一回目が行われた。耕地整理を行うことにより、これまで不規則だった農地は整然と区画され、水田一枚が1反・300坪となりました。水利の便も大幅に改善され、農道も完備されました。しかも、金田の耕地整理は、中郡でも先んじて行われ、他地域の見本になりました』（わたくしたちの住む町金田 2009. 3）

● 『第二次世界大戦の後、経済はもとより、農村の封建制度が打破され、さまざまな面に亘り民主化が進められました。金田地区についても、各家庭の生活の改善、地域活動の振興、健康な身体づくり等全村挙げての諸改革が実施され、他の地域からも注目されました。活動の実績は国からの表彰を、そして天皇・皇后の行幸・行啓の栄誉を受けました』

● 『戦後の平塚の社会教育にとって、旧金田村におけるそれは見逃せない。人口わずか二千にも満たないこの小村は早くから農村改革に乗り出し、財政状況も比較的安定していた。ここで活躍したのは、比較的若い年齢層で構成された諸団体であり、早期に旧体制からの脱皮を図ったのである。進んで国や県の研究指定を受け熱心に取り組み、優良村として表彰されている。特に全村で導入したバレーボールは農業労働からの体力更正に始まったが、全国の家婦人バレーボール普及の創始ともなった。次に青年団、婦人会、少年団などが改組され、戦後はこれらが自らの反省と学習を踏まえて民主主義思想の普及、啓発に尽くすこととなる』（平塚市史 8）

● 活動の成果、諸表彰

○ 昭和25年（1950）には、県から社会教育の研究指定村を受けました。

○ 26年にはレクリエーションの研究指定を受け、26年度レクリエーションの模範村として表彰されました。

- 28年には文部省の社会体育の研究指定を受けるとともに、神奈川県教育委員会から新生活運動総合一位、読売新聞社から新生活モデル村の表彰を得ています。
- 29年には再度 神奈川県教育委員会から新生活運動総合一位を受賞し、中央審査会の神奈川県代表として選出されています。
- 30年には県民運動の模範として県知事表彰、31年には社会体育の普及振興の功として、文部大臣の表彰を授かっています。
- 昭和30年(1955)10月 第10回国民体育大会秋季大会が神奈川県に於て開催され、大会視察で会場に天皇皇后両陛下が行幸・行啓なされ、金田村にも足を運ばれました。

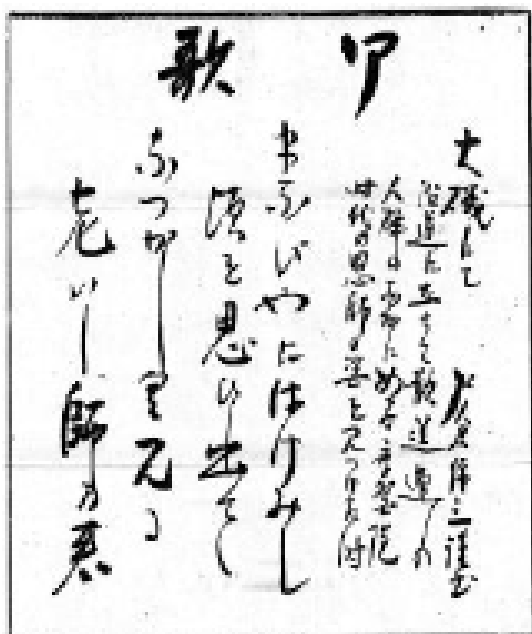
『11月1日の午後、国体競技種目の社会体育の会場である中郡金田村の金田健民館に向かわれた。金田村は近代営農に著しい進歩を見た村で、「健康と明朗な村民」を目標に新生活運動にのりだし、衣食住の改善、冠婚葬祭等の是正など全村挙げて努力し「村民体育向上」を村是とし、農民体操の普及、バレーボールの家庭化等新生活モデル村、あるいは社会体育優良村として、県下は勿論全国にも稀に見る社会体育の普及された村として、文部省・県等から表彰を受けた村である。両陛下は15分にわたり村民バレーボール等を視察された』

(図説 平塚の歴史 '94 郷土出版社)

『まなびやにはげみし頃を思ひ出でて なつかしく見るおいし師の君』

(昭和天皇陛下の)皇后陛下の御歌

『寺田縄出身である学習院時代の恩師戸倉ヤマ(旧姓吉川)さんの姿を見いだされお詠みになった』



戸倉マヤさんは、1882(明治15)年寺田縄の吉川勝次郎(金田村14代村長)・ケイ氏の長女として誕生し、岡崎村の戸倉保三さんに嫁がれました。1966(昭和41)年84歳で逝去されました。

東京音楽学校(現・東京芸術大学)卒業。後、東京音楽学校の助教授を経て女子学習院で、当時、在学されていた昭和天皇の御後に音楽を教授しました。

両陛下は神奈川県国体ご視察の折、金田村へ行幸、啓なされ、金田小学校(現・公民館)校地内の健民館で、地区に関する掲示物の説明を受け、グラウンドでは村民チームになるバレー

ボール試合をご覧になりました。

マヤさんの夫、戸倉保三氏の手になる書です。地元の方からコピーが手渡されました。

上記にあるように、金田地区は民主的な社会活動を実現した結果、いくつかの表彰の授与を受けました。保管されている賞状を紹介します。公民館の玄関に入って右側、掲示板の上部に掛けてあります。

本状は縦書きですが、紙面上横書きとしました。

新生活賞
神奈川県
一九五三年度選定
新生活モデル町村
総合一位 中郡金田村
本社主催第三回新生活モデル町村
選定と表彰の事業に参加し選定
団体として新生活運動の実践に
努力した結果保健体育に
優秀な成果を挙げたので
ここにこれを表彰する
一九五三年十二月十一日
読賣新聞社 ㊟

表彰状
中郡金田村
新生活モデル村として昨年度県総合
一位表彰を受けてより本年度も各部
門にわたり着実な歩みを続け表彰
候補の栄冠を得た
よって記念品を贈りこれを表彰する
昭和二十九年十二月八日
神奈川県教育委員会
神奈川県新生活運動連絡協議会 ㊟

表彰状
中郡金田村
常に全村一致協力して
体育実践の上のあい路を
克服しよくその成果を取
めつゝあることは本件健民
運動の範であるよってここに
これを表彰します
昭和三十年二月二十七日
神奈川県知事 内山岩太郎 ㊟

表彰状
神奈川県
金田村
貴団体は長年にわたり社会教育の
普及振興に尽力し他の模範とする
に足る顕著な成果をあげられた
よってこれを表彰する
昭和三十年十月三十日
文部大臣 松村謙三
財団法人 日本体育協会々長
東龍太郎 ㊟